東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2180回例会　2011.8.25

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
野村(裕)例会運営委員

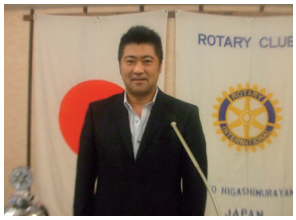
■点鐘：小町会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
熊木会員

■お客様紹介：
嶋田パスト会長

◆ゲスト：
前衆議院議員
木原誠二　様



◆ゲスト：
前ガバナー補佐
安部正男　様

■会長報告　小町会長

社務所会場での例会は3週間ぶりです。夏休みも終盤にさしかかっています。気候も不順ですが皆さまにおかれましては体調管理はいかがでしょうか。私も北海道小樽へ小旅行に行ってまいりました。東京と変わらぬ暑さでしたが、にしん漁最盛期に創られた御殿、海運盛んな運河と石造りの蔵等が異国情緒を醸し出し、お洒落な街のたたずまいでした。また、20日の家族親睦クルージング例会では多くの会員、奥様、お子様の参加を頂きありがとうございました。すがすがしい天気の中、スペイン音楽を聴きながら美味しいフランス料理と東京湾の夜景を堪能されたと思います。赤木クラブ管理委員長、石山例会運営委員長さんご苦労様でした。
さて本日の卓話は多方面で活躍されています木原誠二さんにお願いして国、地域を元気にし、未来を託す若者にエールを贈る話が聴けると思いますのでお楽しみにしてください。
会務報告です。まず地区青少年交換委員会より第46期派遣学生の帰国報告会、および来日学生との合同歓迎会を9月24日15:00より日本青年館ホテルで開催の案内が来ています。2010～11年度青少年交換留学生ホストクラブへ感謝状と記念品が届いています。我、クラブへ感謝状、野澤カウンセラー及び中丸、赤木ホストファミリーに感謝状と記念品が届いていますのでお渡しします。
クラブ概況及び事業計画書を本日配布させていただきました。カルヤン・バネルジー国際ロータリー会長のテーマ「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」をご一読いただき現在のロータリーのあり方をご認識ください。東京東村山ロータリークラブ会長テーマ「和の心　自然に学びて未来を創ろう」は3月の東日本大震災、原発が自然と人為を改めて問うています。ロータリア

ンが議論をし、仲間として貴重なノウハウを提供し心強い助言者として親睦を深めこれからの奉仕を実践していきたいです。
活動スローガン
1. 家族、仲間を大切に心にゆとりをもって行動しよう。
2. 例会・その他会合でロータリーを楽しもう。
3. 未来に向けて今できる奉仕をしよう。
4. 地域社会を支えていく若者にエールを贈る周年事業の企画をしよう
5. 会員増強に目標５名をめざします。

■幹事報告　　野村(高)幹事

■東京武蔵村山ＲＣ(ホスト)：
2011-12年度多摩分区親睦ゴルフ大会の案内の受理
2011年9月16日(金)
於　青梅ゴルフ倶楽部
集合　8:45　　参加費　5,000円

■青少年交換委員会：
第46期派遣学生(2010年度夏)の帰国報告会及び来日学生との合同歓迎会
2011年9月24日(土)　15:00～
於　日本青年館ホテル

■職業奉仕委員会、環境保全委員会：
地区職業奉仕委員会・地区環境保全委員会からのお願い
チャリティー事業「職業奉仕12章、扇子、手拭い」の申し込みのお願いについて
1セット(扇子＋手拭い)　1,500円
(内、純利益750円を東日本大震災義援金として寄付)
〆切　9月30日

■新世代奉仕委員会：
(在京)新世代奉仕セミナーの案内の受理
2011年9月29日(木)　15:00～
於　和敬塾

■東京池袋西ＲＣ：
「第48回インターアクト年次大会」お礼状の受理

■国際ロータリー日本事務局：
2011年9月のロータリーレート　1ドル＝78円

■青少年交換委員会：
2010～11年度青少年交換学生ホストクラブへ感謝状と記念品の受理
クラブへ感謝状
カウンセラー　野澤会員(感謝状と記念品)
ホストファミリー　中丸会員、赤木会員(感謝状と記念品)

■2580地区水野ガバナー：
・東日本大震災義援金の取り扱いについて
※メールＢＯＸにて全会員に配布します。
・2011-12年度東日本大震災義援金の確認依頼について

■クラブ奉仕委員会：
卓話者リストの受理
(ロータリアンへの謝礼は5,000円程度にとのこと)

■第2580地区山本地区幹事、土居国際奉仕委員長：
海外からの義援金に関してアンケートのお願いについて
国際奉仕委員会の日本復興・復活に対して
①国際奉仕活動の実践
②国際奉仕プロジェクトの全面的支援
③オン・ツー・バンコクへの参加呼びかけ
上記3点をお願いするとともに、海外からの支援についてのアンケート

■米山奨学委員会：
(在京)米山奨学生カウンセラーセミナー開催の案内について
2011年9月15日(木)　16:00～
於　ハイアットリージェンシー東京

■ガバナー事務所：
米山卓話依頼書について
卓話依頼受付中
10月の米山月間については〆切8月31日まで

■日体桜華高等学校：
第53回「桜華祭」の案内の受理
2011年9月17日(土)～18日(日)　11:00～(文化祭)
2011年9月24日(土)　9:00～(体育祭)

■米山奨学会：
(沖縄)会長エレクト及びクラブ米山委員長研修会の案内の受理
2011年9月20日(火)　15:00～
於　パシフィックホテル沖縄

■例会変更：
所沢中央ＲＣ　9月12日(月)→振替休会

■バギオ基金：
一般財団法人比国育英会バギオ基金
第3回定時評議員会の開催について
2011年9月27日(火)　17:00～
於　弘済会館

■ロータリー財団委員会：
2010-11年度「ロータリー財団補助金監査報告書」の受理

■出席報告　　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
32	23	0	8	74.19

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名
■前々回出席率メークアップ修正後：86.67%

■前々会メークアップ者：
北久保会員：清瀬ＲＣ
熊木会員：清瀬ＲＣ
中條会員：立川こぶしＲＣ
野澤会員：白鷹ＲＣ
戸澤会員：地区委員長会
山本会員：地区委員会

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■記念品贈呈：
青少年交換委員会より
交換学生ホストクラブ
へ感謝状と記念品の贈呈

赤木会員、中丸会員

■令夫人誕生祝月：
中丸会員

◆神﨑会員：木原先生、今日はご苦労様です。宜しくお願い致します。また東京湾、皆様お疲れ様でした。
◆山本会員：安部元ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。木原さん卓話よろしくお願い致します。
◆嶋田会員：目時さん今日は木原前議員を卓話に呼んでいただきありがとうございます。木原議員卓話よろしくお願い致します。
◆樺澤会員：木原先生、今日はようこそおいで戴きました。よろしくお願いします。
◆當麻会員：安部直前ガバナー補佐様ようこそおいで下さいました。
◆小町会長、野村幹事：
木原様、本日は卓話ありがとうございます。今後の健闘をお祈りします。安部直前ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。
◆目時会員：木原さん、お忙しい中本日はありがとうございます。
◆安 部 様：お世話になります。
◆相羽会員、隅屋会員、樺澤会員、五十嵐会員、
戸澤会員：写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　35,000円
累　　計　：　196,700円

■委員長報告

■赤木クラブ管理委員長
（代読　中丸会員）

赤木会員は、25日26日と全国都市監査委員研修会へ出席の為、本日欠席しますので、私が代読致します。

先週土曜日の家族親睦例会に多数の会員及びご家族の出席を頂き、大変有難うございました。

■戸澤国際奉仕委員長

今年度、ロータリー世界大会はタイのバンコクで行います。ＪＴＢにお願いしています。
2012年5月5日(日)出発で5月9日(木)到着します。
行きは成田空港を5日の午前11時出発、帰りはバンコクを8日の23時50分出発、成田空港には9日の朝8時10分着となります。時差は2時間となります。3泊5日の日程となります。
是非みなさん宜しくお願い致します。

■山本地区オン・ツー・バンコク委員

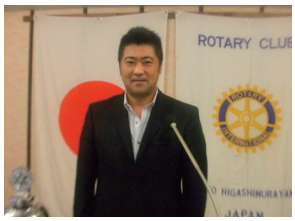
パスト会長として2点申し上げます。
まず、前会長として一言申し上げます。本年は32人スタートの為、欠席すると一人一人が占めるパーセントが大きい為、必ずメークアップをして下さい。

また、オンツーバンコクに皆さん出席を宜しくお願いします。デモンストレーションＤＶＤを戸澤国際委員長へ預けてあります。是非みなさん見て下さい。
9月1日にオンツー委員会があります。その件につきましてはまたご報告します。

■卓話(会員増強月間に因んで)

■卓話者紹介：目時会員

■卓話者：
前衆議院議員
木原 誠二 様



改めまして皆さんこんにちは。ライオンズクラブ会長の木原です。今日は、政権も動いておりますし、政権の話もしたいなと思いながら、色々な立場を使い分けながら、この人はどんな人間かなと思われるかもしれませんが、話をさせて頂ければと思います。先程から、例会を拝見させて頂き、大震災にむけての話等々、義援金の話もございました。日頃から東村山ロータリークラブの皆様には、実社会のために本当にご協力頂いておりますことに、まずは敬意を表します。

私は今、３つのことをやっております。

1つ目は、政策研究大学院大学というものがございまして、主にタイ・ベトナム・インドネシアからの留学生の皆様に中央と地方の税金の振り分け、地方政府の税金の徴収の仕方を教えています。

2つ目は、これは一種のサラリーマン生活ですが、言葉を聞くとあまりイメージは良くないと思いますが、ヘッドハンティングの会社に所属してコンサルタントをしております。その中でも役員クラスとして、週に月～木まで、昼間はこれを主にさせて頂いております、今、世の中は大変な不況でありますが、多くの会社はアジアを目指し、アジアの人材が欲しいという声が多いです。主としてアジアで活躍できる人、アジアで工場を立ち上げた経験のある人、販路を拡大した経験のある人、店舗開発をしていた人という声が多く、月にだいたい1回くらいは中国・タイ・シンガポールへ行っております。その中でやはり日本はアジアの中で遅れてきているなということを感じております。

3つ目ですが、子供未来財団という、学芸大学が出資をしている財団の理事をしています。先ほど、小町会長から話がありましたが、子供を育てていくのに学校だけでは難しい時代になり、親はどうしていくのか、もう少し教育に大人の皆に関わって頂きたいということで、子供教育支援の人材を育成し、先生以外の様々な方々にボランティアとして入って頂いております。ボランティアの方にきちんと研修して頂いて、どう子供と接していくのかを大人の皆さんに勉強してもらうことが目的です。

そんなことをやっておりますので、自民党所属ではありますが、自然的に政治活動が若干疎かになっております。

先日、テレビでお笑い芸人がオリンピックを目指して頑張っているのを見まして、姿・形はとても良いとは言えませんが、どこか美しさとは別に顔には出てこない魅力があるのではと感じ取りました。今、韓国の美男・美女が人気ですが、かなり顔に手を入れているという噂があります。作った顔・作った体(アスリートとして)は悪いことではないのですが、長い時間がたてば、元の姿が問われるのではと感じます。いつまで続くのか疑問に思っております。日本もバブルが崩壊した20年に、整形に整形を加え、作られた日本となり、新しい顔を目指しましたが、日本が元々持っていた良いところを失うことになり、結果的に顔が出来上がっていない国となってしまいました。日本の強み、良さ、伝統、日本の魅力を考えてみますと、これから日本はもう一度原点に帰っていくのではないかと思われます。

イギリスの大蔵省に在籍していた時、前首相のサッチャーが「原点に返る」と言っていたのが今痛烈に思い出されます。サッチャー改革は、かつて繁栄していた大英帝国時代のイギリスの精神を取り戻す、いわゆるイギリス人の原点に戻る改革だったのです。

それでは、現在の日本を取り戻すために、日本の強みを5つお話したいと思います。

1点目は、戦後日本の繁栄をもたらしたのは、行政組織がしっかりしていたからだと思います。今の行政組織は、政治に左右され、しっかりとした行政組織が機能しておらず、従って役人の士気が低下しています。この行政組織を立て直すことです。今の政権の最大の問題は、本来法律による行政が鉄則であるのですが、これは例えば憲法でいうと、租税法律主義という法律があり、法律に基づいて税金の徴収が行われることですが、それが行われていないということです。原発の対応をみると、法律で速やかに都道府県、市町村に連絡せねばならないと書いてありますが、一度も行われておらず、法律に書いてあることをやらないのは大きな問題であります。法律は案外きちんと作られているので、無視すると大変危険な問題となります。浜岡原発や銀行への債権放棄など、法律にないことをやってしまうことで、行政は大きな混乱を起こしてしまうのです。自民党が良いというわけではなく、自民党も役人に全部任せきりで、法律の原点からずれていました。もう一度きちんとバランスをとらなければなりません。行政官は、法律によって権限・責任を持って行政を行うということです。現在は法律がきちんと動いていないので、行政マンは仕事ができず、霞ヶ関は機能していない脳死状態です。

2点目は、日本の最大の強みである中小企業に尽きると思います。7割の雇用は中小企業であり、企業の99％は中小企業で、ずっと日本を支えてきました。これをもう一度強くしていくことが、これからの政治の課題です。アメリカには、地域購入法という法律が州の半分程で施行されています。これはどういう法律かと言いますと、例えばカリフォルニア州の税金を使って公共事業をする時は、カリフォルニア州の会社に発注するというものです。また、地元の銀行の60％は地元に貸し出しをしなさいという法律であります。アメリカは市場主義かと思われていますが、国の産業を守るための工夫もしているのです。いま私も、国会に地域購入法という名称で法律を提出してもらっています。日本はWスタンダードという言葉を嫌いますが、Wスタンダードは必要なのです。強い人、弱

い人が同じルールである必要はなく、使い分けなければなりません。これは社会保障にも言えることです。社会保障は、弱い人を救済するのですから、強い人・弱い人に同じルールを適用する必要はないのです。中小企業も同じ事です。かつて大企業が繁栄すると、中小企業も潤ったのですが、今はそうはいかないのです。ですから、今後は国が中小企業に直接仕事を出す仕組みが必要です。

本来、規制緩和は大企業が活躍できるところを緩和せねばならないのですが、小泉政権は大きなミスを犯し、中小企業が活動すべきところを緩和してしまい、経済の破戒を起こしてしまいました。やるべき順番を間違えてしまったのです。今後は、電力・航空の規制緩和がやって来ます。そういう時代に入って来るので、Wスタンダードを守り、しっかりとした規制緩和をして欲しいです。

3点目は人材です。中国の会社、シンガポールの会社は、日本人が欲しいと言います。それは、日本の中間管理職ほど会社に忠実で、チームで仕事ができて、技術経験をもった人はいないからです。しかし、若者はそうではありません。だいぶ質が落ちています。日本はこのままでは人材の競争で負けてしまいます。サッチャーの言葉ですが、イギリスの教育改革は日本を真似ています。日本から学んだことは、学校にしっかりとした規律があり、きちんと基礎教育が行われていた点です。しかし、イギリスが教育改革を行っている時、日本はゆとり教育に舵を取り、今日の姿を招いたのです。再び、原点に戻った基礎教育が必要なのです。

4点目は国際化です。日本人はずっと外に出て活躍した人材です。最近は減ってきており、ここ20年は110万人で変わっていません。一方、韓国は350万人ですが、日本の半分の人口ですので、700万人相当ということになります。日本は豊かで、人口規模もあるので外に出て行かなくても大丈夫ということでしたが、これからは人口が減ってくるのでそうはいきません。若い人が外に出ていけるような国づくりをしなければなりません。

5点目は財政です。

日本の財政は、20年前までは先進国で優等生でした。この20年の間で、財政はボロボロになってしまいました。小泉政権前の自民党の最大の失敗です。次の世代に何を残すか、きちんと皆さんとともに考えていかなければなりません。

これまで、日本の強みを5つ挙げました。やはり、短所を正し、長所を伸ばしていくことです。何が日本の強みなのか、他の国の改革が良い悪いではなく、自分達の原点を皆さんとともに考えていきたいと思います。ロータリークラブには、ずっと日本を支えて頂いてきましたので、それを政治が引き上げられるよう、今後も頑張っていきます。

■点鐘：小町会長